

はじめに

皆さんこんにちは。ミアキス・アソシエイツの河西です。私は、1989年から1998年までの10年間、外資系半導体製造装置メーカーと外資系コンピュータメーカーで広報PR・広告宣伝・展示会イベント業務の責任者として、数多くのプロジェクトに関わってきました。また、1998年にPRコンサルタントとして独立以降、現在まで多くのエレクトロニクス企業の国内PR業務に関わっています。

私がメーカー勤務だった当時(1990年代)はインターネットが一般的ではなかったため、プレスリリースの配信や記者発表会の準備など、電話とFaxに頼る毎日でした。そのため、広報担当者が最初にまかされる仕事は、プレスリリースをきれいにコピーすることや、短時間にまとまったFax送信を行なうこと、さらにはプレスキットの郵送だったことを覚えています。

それが、90年代後半からインターネット基盤の充実によって、プレスリリース配信がFaxから次第にメールや送信代行に、プレスキットの郵送は印刷からデジタルに変わり、さらには企業Webサイト内のプレスルームにデジタル・プレスキットとして、ダウンロードできるようになって来ました。

今まで、1日ばかりでプレスリリースをコピーしFaxし、郵送していた手間と時間=アナログの作業が、メール配信やWebサイト=デジタルに変わった、このことは何を意味するのでしょうか。それは、スピードとダイレクト性(企業とメディア間の物理的距離をなくし、記者と直接つながる)をもたらしました。

インターネットの普及で、世界中から24時間リアルタイムで、さまざまな情報を見ることができます。国内はじめ海外の新製品発表会やカンファレンスが生中継され、30分後には国内のニュースサイトに速報として掲載される時代です。このように、情報発信はますます加速し、市場や業界を駆け巡っています。言い換えると、このスピードを利用すれば、企業情報をタイムリーに発信し、パブリシティとして有効活用できるのです。

私は1998年に独立以来、PRコンサルタントとして担当しているクライアントのプレスリリースを1,000本以上作成し、そのうちほぼ100%をメール配信しました。その記事掲載率は90%を超えています。高い確立でメール配信したプレスリリースが掲載されるのには、理由があります。

それは、従来のプレスリリースとメール配信用では作り方を変えているからです。

「メールを受け取る記者が、一番好ましい形式で配信する」。

この簡単なルールなのですが、他の PR エージェントや PR コンサルタントは、このことをクライアントに助言していないのが現状です。

また、長年企業広報にたずさわっている広報 PR スペシャリストの皆様も、この点に気づいていない場合が多いのです。

私は、成功を信じて挑戦し続けるベンチャー企業や、外資系テクノロジー企業の広報 PR 業務を支援していますが、このようなツールやテクニックを個別にお伝えするには限界があります。ひとりでも多くの皆さんにこの手法をご紹介します、どうすればプレスリリースを活用して、最高の結果を得ることができるか。この小冊子が皆さんのお役に立つことを祈っております。

この小冊子は、私が長年実践して成功を収めてきた、プレスリリースの配信手法を公開するものです。プレスリリース作成とメール配信は、決して難しいものではありません。

また、広告のように多額の予算が発生するものでもありません。思い立ったときに、自ら作成し、メール配信することで、あなたは新たなビジネスチャンスを手に入れることになるのです。

「効果的なプレスリリース配信法」

目次

- 1.メール配信の効果
- 2.従来の配信とメール配信、何が違うか
- 3.配信方法：ツールを調べる
- 4.配信先を決める
- 5.配信先のメールアドレスを調べる
- 6.プレスリリースを作成する
- 7.メール配信用のテンプレートを作成する
- 8.配信テストを行う
- 9.配信する
- 10.Web サイトにプレスリリースを掲載する
- 11.プレスリリースが記事になったら
- 12.試行錯誤を繰り返し、修正を加える

著者ご紹介

日本パブリックリレーションズ協会認定 PR プランナー (登録番号: 第 00279 号)

外資系メーカー(アプライド マテリアルズ、シリコン・グラフィックス)で 10 年間、国内広報宣伝部門責任者を経て、1998 年 8 月より PR コンサルタントとして独立。以来、延べ 150 社以上の外資系エレクトロニクス企業をはじめ、IT ベンチャー、国内上場企業各社の広報 PR 業務の企画実践に関するコンサルティング業務を行っています。

クライアント向けのプロフェッショナル・サービスを提供するほか、PR 業務に関するセミナー講師や、PR 担当者(パブリスト) 向けの教育ツールの開発と提供を行っています。PR トレーニング実施は 1998 年の独立以降、延べ 300 回を数えます。

プレスリリース作成は、企業に在籍していた 1989 年から通算 1,000 本を超えました(2013 年 11 月 1 日現在 1,389 本)。

2008 年から 2012 年まで、3D/組込みグラフィックスの業界標準 API 仕様の策定を行う非営利業界団体 The Khronos Group の日本代表(Director of Japan Operations)兼 PR マネージャとして、同グループの国内広報業務および国内会員企業サポート活動の責任者を務めました。

ミアキス・アソシエイツについて

ミアキス・アソシエイツは、プレスリリース作成代行、校正、配信代行、記事掲載調査など、企業の広報業務を支援するサービスを提供しています。新製品発表から、新会社設立、展示会出展など企業広報についてサポートが必要なとき、ミアキスにご連絡ください。お待ちしております。

- この Eブックに組み込まれた URL は編集時点のものであり、変更または削除されている可能性があります。
- 本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部または全部について、ミアキス・アソシエイツ合資会社から文書による許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複製・複製することは禁じられています。
- 本書の内容及び PDF 不具合に関するお問い合わせ先:ミアキス・アソシエイツ合資会社 河西仁 kasai@miacis.com
<http://www.miacis.com> からお問い合わせフォーム